

2013年5月23日配付

2013年企画展

## 「アマゾンの生き物文化」

2013年5月23日（木）～8月13日（火）

国立民族学博物館 企画展示場A（本館2階）

アマゾンの生き物は、住民にとって食用にされるのみならず鳥の羽が装飾品に樹木が吹矢の素材に利用されるなど、様々な形で住民の生活に深く入り込んでいます。この展示では、アマゾンの生き物と人との関係を紹介することを通して、21世紀における自然と人類文化とのかかわり方を提示することを目的とします。

- 展示名 企画展「アマゾンの生き物文化」
- 会期 2013年5月23日（木）～8月13日（火）
- 場所 国立民族学博物館 企画展示場A（本館2階）
- 時間 10:00～17:00（入館は16:30まで）
- 無料入館日 6月30日（日）
- 休館日 水曜日
- 観覧料 一般：420円（350円）、高校・大学生250円（200円）、小・中学生110円（90円）  
（ ）は20名以上の団体料金／リピーターは団体料金を適用
- 主催 国立民族学博物館
- 協力 山形県鶴岡市
- 問い合わせ 国立民族学博物館 06-6876-2151（代）
  
- 実行委員長 池谷和信
- 標本資料 200点（借用120点（剥製57点、標本資料63点）、みんぱく資料80点）



実行委員長 池谷和信（国立民族学博物館 教授）

野生動物、家畜、ペットなどの生き物と人とのかかわり方について地球的視野で研究。  
著書「家畜ってなんだろう（わたしたちのくらしと家畜）」「家畜にいま何が起きているのか」ほか。

## 【展示構成】

■「イントロダクション」

■第1部 『川の世界』

■第2部 『森の世界－けものたち－』

■第3部 『森の世界－鳥と虫－』

■「アマゾンの現在」

## 【関連催し物】

### ギャラリートーク

展示場にて教員がアマゾンの文化についてお話しします。特別にアマゾン民族館・館長や上野動物園元園長のトークも実施いたします。

- 6月 1日（土） 池谷和信（国立民族学博物館教授）
- 6月 2日（日） 山本紀夫（国立民族学博物館名誉教授）
- 7月13日（土） 中川哲男（天王寺動物園元園長）
- 7月14日（日） 池谷和信（国立民族学博物館教授）
- 7月27日（土） 山口吉彦（アマゾン民族館館長）
- 7月28日（日） 小宮 輝（上野動物園元園長）
- 8月 3日（土） 中牧弘允（国立民族学博物館名誉教授）
- 8月10日（土） 池谷和信（国立民族学博物館教授）
- 8月11日（日） 池谷和信（国立民族学博物館教授）

■時間 13時～13時30分

### トークイベント「鳥の羽根いろとりどり」

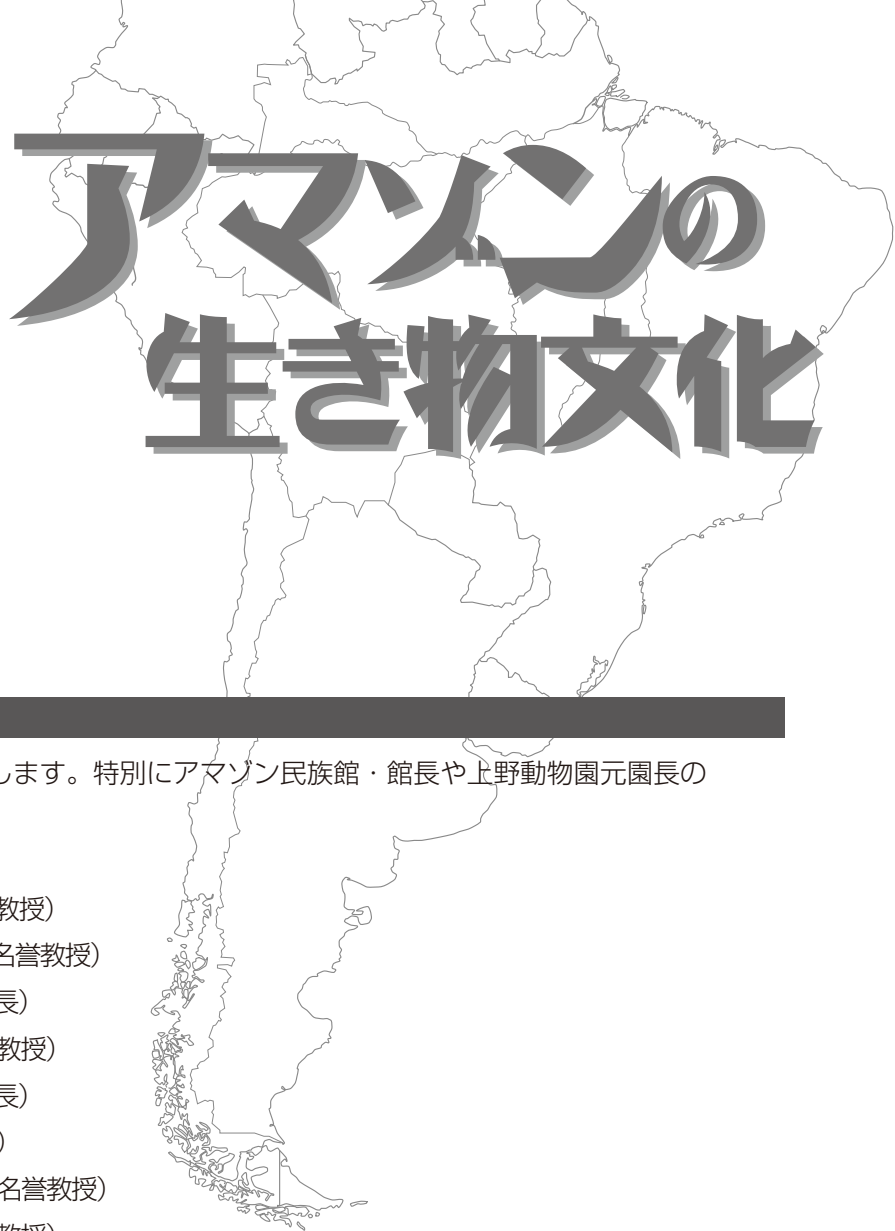
館内・館外の研究者が、世界の鳥の羽根についてお話しします。

■日時 7月27日（土）14時～16時

### みんなくウィークエンド・サロン——研究者と話そう

- 7月14日（日） 池谷和信（国立民族学博物館教授）
- 7月21日（日） 齋藤 晃（国立民族学博物館准教授）

■時間 14時30分～15時30分



### ◆お問い合わせ◆

国立民族学博物館 広報企画室広報係  
電話 :06-6878-8560(直通) FAX:06-6875-0401  
Mail:koho@idc.minpaku.ac.jp